

地方学術会議委員会（第26期・第1回）議事要旨

1. 日時：令和6年3月27日（月）10:00～12:00

2. 場所：（オンライン開催）

3. 出席者：

出席委員：光石衛委員、三枝信子委員、日比谷潤子委員、河原純一郎委員、五十嵐和彦委員、有田伸委員、石原一彰委員、村山美穂委員、堀利栄委員、内田誠一委員、加納圭委員

4. 配布資料：

資料1 地方学術会議委員会構成員名簿

資料2 地方学術会議委員会運営要綱（令和5年12月22日 幹事会決定）

資料3 目的及び任務（地区会議との比較）

資料4 地方学術会議の開催について（平成30年1月25日 幹事会決定）

資料5 地方学術会議の今後の進め方について（令和2年8月27日 幹事会決定）

資料6 第25期委員会 議事要旨（第2回、第4回、第5回はメール審議）

資料6-1 第1回

資料6-2 第3回

資料6-3 第6回（第25期最終回）

資料7 地方学術会議開催実績（一覧）

資料7-1 第1回 京都 開催概況

資料7-2 第2回 札幌 開催概況

資料7-3 第3回 富山 開催概況

資料7-4 第4回 山口 開催概況

資料7-2 第5回 福岡 開催概況

資料7-3 第6回 宮城 開催概況

資料7-4 第7回 つくば 開催概況

5. 議事概要

（1）役員を選任

- ・委員長の互選を行い、三枝信子委員を選出した。
- ・三枝委員長が副委員長として内田誠一委員、幹事として加納圭委員を指名し承認された。

（2）地方学術会議の進め方について

- ・第24期、第25期における地方学術会議開催状況について、全国7地区において

開催された旨も含め報告があった。

- ・今後の開催について、開催サイクル、開催地、開催形式、開催内容等について審議され、開催サイクルは、当面年1回程度の開催の方針も確認された。
- ・開催地については、各地区において地区内での開催候補地の検討をいただくこととされた。
- ・開催形式については、市民に開かれた学術会議を目指す観点から、地域のニーズを考慮すること。
地域の自治体、大学、研究機関、企業、市民団体の活動が広く周知されること。
地方には、基盤的、伝統的分野における知識や技術の蓄積があることから、その蓄積を発出できること。
ワークライフバランスやジェンダーバランスを考慮した開催とすること。
などの意見があった。
- ・今期の活動例として、学術講演会を公開で行うことに加え、地方学術会議の開催概要や成果などを日本学術会議のホームページに掲載するとともに、動画の配信なども行い情報発信が強化できるよう検討するという方針も確認した。
- ・「地方学術会議の今後の進め方について」（令和2年8月27日 幹事会決定）は、第24期から第25期にかけての地方学術会議の開催地や開催形式等について定められたものであり、第25期までに全地区での開催がされるなど所期の目的は達成されていることから、本規定は今後幹事会にお諮りし廃止することとした。

（4）その他

- ・第26期アクションプランにおける当委員会の位置付け、「学術を核とした地方活性化の促進」についての議論が交わされ、引き続き検討するという方針を確認した。

以 上